



「Good job!」(素晴らしいね)

エンジョイ イングリッシュ!

成田市の英語教育

市では、国際性や実践的コミュニケーション能力の基礎を身に付けてもらおうと、ALTをすべての小中学校へ派遣し、市内小中学校での英語科授業を一層充実させています。

まずは関心を持って 親しむことから

小学校の英語科授業は、英語を使ったゲームなどを通して、まずは言葉や文化に関心を持ち、親しみながら聞いたり話したりすることが中心です。考えや気持ちを相手と伝え合う実践的コミュニケーションの素地を養うことを目標としています。

外国人英語講師(ALT)の後に続いて大きな声で英語を発音したり、会話をしたりして英語に親しんでいます。繰り返しの練習に親しむうちに、自信を持って英語を発音することができます。



授業は担任とALTのTTで

うになります。

外国人英語講師との ティームティーチングで

英語の授業は、担任とALTとのティームティーチング(TT)に

より行います。ALTの英語を直に聴き、感じるにより、発音や英語のリズムに自然に親しむことができます。

中学校の拡充された英語の時間では、小学校で培われた素地を基に、コミュニケーション能力の基礎を養うことを目標としています。

教育課程特例校として 独自のカリキュラムで

平成15年度から内閣府の特区制度を活用して市が取り組んできた「国際教育推進特区」は、平成20年度から文部科学省に移管され、「教育課程特例校」として継続しています。

市の英語学習は、すべての小中学校が教育課程特例校として、独自のカリキュラムで行われています。

市の英語科授業

【小学校】

○1～3年生：原則として20分の英語科授業を週3回実施

○4～6年生：原則として20分の英語科授業を週2回、45分授業を週1回の計3回実施

【中学校】

標準では年間105時間の英語科授業時数を140時間に拡充して実施

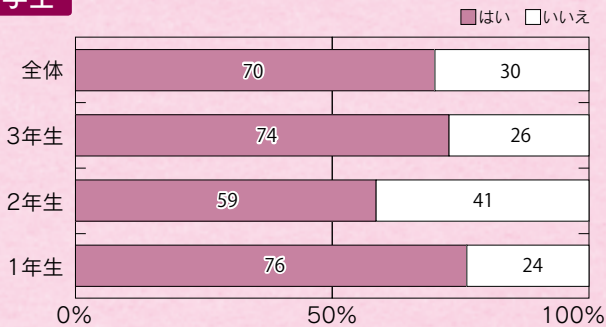
「英語って楽しいな」「外国に興味がわいたよ」

市内小中学校の児童・生徒を対象に平成21年度末に行った、英語の授業に関するアンケート結果を紹介します。

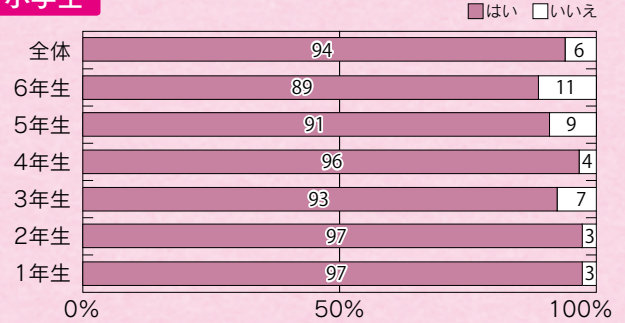
対象：市内の全小中学生

●あなたは、英語の授業を楽しんでいますか

中学生



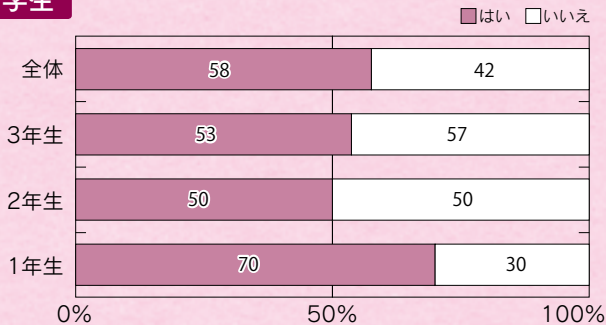
小学生



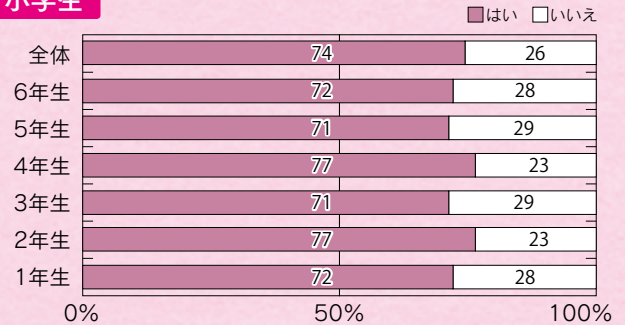
小学校では9割、中学校では7割の児童・生徒が英語を楽しんでいるということが分かります。特に小学校ではその割合が高いことが分かります。

●あなたは、英語を使って話すことができますか

中学生



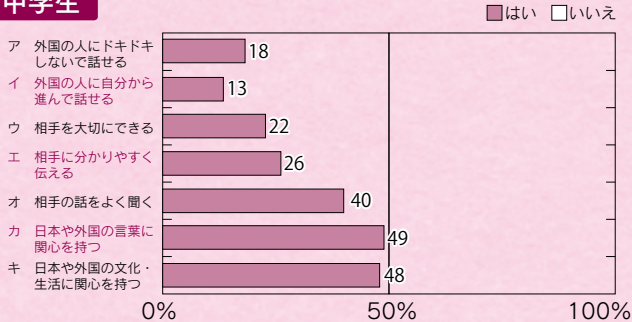
小学生



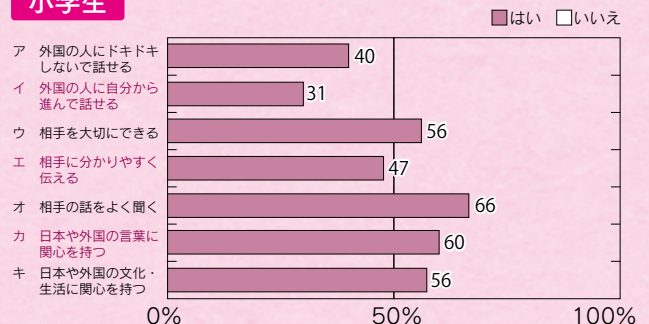
小学校ではどの学年も7割以上の児童が「英語を話せる」と答え、自信を持って英語学習に取り組んでいることが分かります。中学校でも5割以上の生徒が話せると答えています。

●あなたは英語の授業を受けることによってどんなところが変わってきたと思いますか

中学生



小学生



英語の授業を受けることによって、「日本や外国の言葉・文化に関心を持つことができるようになった」と考えている児童・生徒が約半数を占めています。小学校で、英語の授業を受けることにより「相手の話をよく聞く」ことができるようになったと考えている児童が半数以上いることも注目すべきことです。

※くわしくは教育指導課(☎20-1582)へ。